

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

<b>事業名</b>	特別障害給付金給付に必要な経費	<b>担当部局庁</b>	年金局	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成17年度	<b>担当課室</b>	総務課	総務課長 藤原 禎一			
<b>会計区分</b>	年金特別会計福祉年金勘定	<b>施策名</b>	IV-7-1 障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備し、障害者の地域における生活を支援するとともに、自殺対策を推進する。				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	「特定障害者に対する特別障害給付金の支給に関する法律」第3条	<b>関係する計画、通知等</b>	-				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国民年金制度の発展過程において生じた特別な事情を考慮し、障害基礎年金等の受給権を有していない障害者の福祉の増進を図るための特別障害給付金の給付を行う。						
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	国庫負担金等を財源として、特別障害給付金の給付を行う。						
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
	当初予算	9,860	8,458	7,834	7,699	7,570	
	補正予算	▲ 4,087	▲ 2,377	▲ 3,709			
	繰越し等						
	計	5,773	6,081	4,125	7,699	7,570	
	執行額	3,687	3,708	3,642			
執行率(%)	64%	61%	88%				
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	特定障害者に対し、受給資格等を認定された特別障害給付金を適切に給付する。	成果実績	億円	37	37	36	-
		達成度	%	64%	61%	88%	
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	特別障害給付金受給者に対し、着実に給付する。	活動実績(当初見込み)	千人	8	8	8	- (23)
<b>単位当たりコスト</b>	_____ (円/ )		算出根拠	_____			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	特別障害給付金給付費	7,699	7,570	特別障害給付金1人当たり給付費の減等による			
	計	7,699	7,570				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、国民年金制度の発展過程において生じた特別な事情を考慮し、障害基礎年金等の受給権を有していない障害者の福祉の増進を図ることを目的としており、安定的かつ継続的に行うことが求められる必要不可欠な事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	本事業は、安定的かつ継続的に行うことが求められる事業であることから、国において実施すべき事業である。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	受給者数及び一件当たり給付費が予定を下回ったためである。
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	「特定障害者に対する特別障害給付金の支給に関する法律」に基づく特別障害給付金の給付であり、受益者との負担関係は妥当である。
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	「特定障害者に対する特別障害給付金の支給に関する法律」に基づく受給者への特別障害給付金の給付であり、必要な経費に限定されている。
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	特定障害者に対し、受給資格等を認定された特別障害給付金を適切に給付することを成果目標としており、引き続き受給者に適切な給付を行っている。
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	活動実績はほぼ見込みどおり推移している。
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・当該支出は、「特定障害者に対する特別障害給付金の支給に関する法律」に基づき、国民年金に任意加入していなかったことにより、障害基礎年金等を受給していない障害者に対して支給する特別障害給付金に充てるものである。</p> <p>・引き続き、さらに多くの方に特別障害給付金を請求していただくために、制度の周知・広報の取組を継続的に展開するとともに、特別障害給付金受給者への支払に支障をきたさぬように、過去の支払実績等を踏まえた適正な資金繰りを行うなどの取組を進める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業の必要性の観点から、評価も概ね妥当であり引き続き適正な執行に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
現状通り	-		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
1. 事業仕分け（第3弾） ①実施年月日…平成22年10月28日 ②事業番号…A-9 ③評価結果…＜枠組みのあり方(主体・区分経理)＞ 新たな制度設計の中であり方を検討			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	0741

※平成23年度実績を記入

厚生労働省

(特定障害者に対する特別障害給付金の支給に関する法律に基づく、障害者への給付金の支払)

3,642百万円(平成23年度執行額)

A. 給付金受給者

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」において  
 ブロックごとに最大の金額  
 が支出されている者につ  
 いて記載する。費目と使途  
 の双方で実情が分かるよう  
 に記載)

A. 給付金受給者			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
特別障害給 付金給付費	特定障害者に対する特別障害給付 金の支給に関する法律に基づく、 障害者への特別障害給付金給付費 の支払	3,642			
計		3,642	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	給付金受給者	特定障害者に対する特別障害給付金の支給に関する法律に基づく、障害者への特別障害給付金給付費の支払	3,642		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					